

マイ避難カードをつくろう

「いつ」「どこに」「どのように」「誰と」避難をするかをあらかじめ自分で確認、書き記しておき、災害時の避難行動に役立てるため「マイ避難カード」を作りましょう。「マイ避難カード」は、いざというときにすぐに見られる場所に置いておきましょう。

マイ避難カード（記入例）

▷自宅の浸水想定 3m～5m ▷自宅の土砂災害 土砂災害警戒区域

| | 最善行動 | 次善行動 |
|-------|-------------|---------------------|
| いつ | 台風接近の前日まで | 警戒レベル3 高齢者等避難 |
| どこに | 親類宅へ避難（〇〇宅） | 指定緊急避難場所 （〇〇公民館） |
| どのように | 自家用車で（〇〇分） | 徒歩で（〇分） |
| 誰と | 家族（4人）で | 近所の（〇〇さん）と |

※最善行動とは・・・命を守る最善の避難行動
次善行動とは・・・最善行動の次に考える避難行動

マイ避難カード

▷自宅の浸水想定 _____ ▷自宅の土砂災害 _____

| | 最善行動 | 次善行動 |
|-------|------|----------|
| いつ | | 警戒レベル（ ） |
| どこに | | |
| どのように | | |
| 誰と | | |

※「マイ避難カード」作成シートは、赤穂市ホームページからダウンロードすることができます。

台風・豪雨時に備えてハザードマップと一緒に「避難行動判定フロー」を確認しましょう

平時に
確認

「自らの命は自らが守る」意識を持ち、自宅の災害リスクととるべき行動を確認しましょう。

避難行動判定フロー

あなたがとるべき避難行動は？ **必ず取組みましょう**

ハザードマップ*で自分の家がどこにあるか確認し、印をつけてみましょう。

※ハザードマップは浸水や土砂災害が発生するおそれの高い区域を着色した地図です。着色されていないところでも災害が起こる可能性があります。

家がある場所に色が塗られていますか？

いいえ

色が塗られていなくても、周りと比べて低い土地や崖のそばなどにお住まいの方は、市区町村からの避難情報を参考に必要に応じて避難してください。

はい

災害の危険があるので、原則として※、**立退き避難**（自宅の外に避難）が必要です。

例外

※浸水の危険があっても、
①洪水により家屋が倒壊又は崩落してしまうおそれの高い区域の外側である
②浸水する深さよりも高いところにいる
③浸水しても水がひくまで我慢できる、水・食糧などの備えが十分にある場合は**屋内安全確保**（自宅に留まり安全確保すること）も可能です。

解説は裏面をご覧ください

ご自身または一緒に避難する方は避難に時間がかかりますか？

いいえ

はい

安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や知人はいますか？

はい

警戒レベル3高齢者等避難が出たら、安全な親戚や知人宅に避難しましょう（日頃から相談しておきましょう）

いいえ

警戒レベル3高齢者等避難が出たら、市区町村が指定している**指定緊急避難場所**に避難しましょう

安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や知人はいますか？

はい

警戒レベル4避難指示が出たら、安全な親戚や知人宅に避難しましょう（日頃から相談しておきましょう）

いいえ

警戒レベル4避難指示が出たら、市区町村が指定している**指定緊急避難場所**に避難しましょう